



授業科目名	地域産業クラスター論 -地域内産業の交流と連携をめざして-		
単位数	2	授業形態	講義およびフィールドワーク
担当教員	橋本 卓爾・大泉 英次		
実施日・時間	5月10日(日) 10:00~15:00		
	5月23日(土) 現地調査(田辺市)		
	5月24日(日) 現地調査(田辺市)		
	6月27日(土) 現地調査(岸和田市)		
	6月28日(日) 現地調査(岸和田市)		
	7月19日(日) 10:00~15:00		

【講義内容】

厳しい現状に直面している地方都市や農山村の再生・活性化を図っていくためには、なすべき課題と対策は多々ありますが、やはり基本は産業の確立による経済基盤の拡充・強化です。その際、とくに重視すべきことは地域内にある各産業および関係機関・大学等が交流・連携を深め、連携と集積の利益を実現して行くことです。

本講義では、そのための具体的戦略としての「地域産業クラスター」あるいは「地域産業複合体」に関する理論と政策を座学とフィールドワークの両面から学びます。

この科目は、紀南サテライトと岸和田サテライトが共同して開講します。講義は両サテライトで別々に行いますが、フィールドワーク(現地調査)は両サテライトの受講生が一緒になって、田辺市と岸和田市で1回(2日)ずつ行います。交通費・宿泊費は自己負担となります。

地域産業クラスターあるいは地域産業複合体の事例として、田辺市の「ウメ産業」、岸和田市の「だんじり産業」をとりあげます。

フィールドワークを通じて、両サテライトの受講生がお互いの地域産業について理解を深め、交流を深めることをめざします。

【テキスト・教材】

橋本卓爾・大泉英次編「地域再生への挑戦」(日本経済評論社、定価2400円+税)を使用します。また講義の際に資料を配布します。

【事前学習】

テキストは、和歌山県での産業づくり・地域づくり・人づくりを考察したものですが、あらかじめ読んでおいていただければ、講義・フィールドワークの効果が高まります。フィールドワークの詳細については、最初の講義でお知らせします。